鉄道コレクション対応　点灯化キット　東急3500形対応

TQ-3500　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・東急3500形
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（チラツキ対策を施しています。）

⚠ご注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット　：　1個／セット

【その他】
・説明書（本紙）　：　1枚
・導電性アルミテープ（15mm × 約120mm）　：　3枚／箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）	・直定規
・ピンセット	・楊枝，綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	~~・ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）~~	~~・ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
~~・プラスドライバー~~	~~・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~	~~・サンドペーパー~~
・両面テープ	・ゴム系接着剤	~~・マスキングテープ~~
~~・木工ボンド~~	~~・プラモデル用接着剤~~	~~・瞬間接着剤~~
~~・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラビー」など）~~		~~・遮光用の塗料（黒または銀）~~

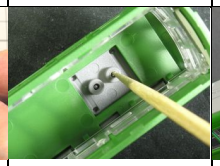
●取り付け手順

1. 分解する

1−1　床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1−2　パンタグラフを外す

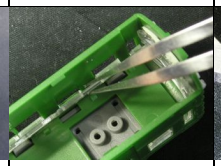


パンタグラフは、楊枝などで内側から押して外します。

1−3　塗装面を保護する

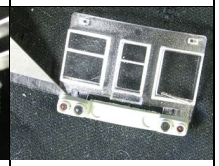
この車種は屋根を外す必要はありません。
付けたままの屋根板や、張上げ屋根部分を傷つけないように、柔らかい布の上などで作業しましょう。

1−4　窓ガラスを外す



まず側窓を外します。
側窓を外すと、前面の透明パーツ、妻面の窓が外せます。

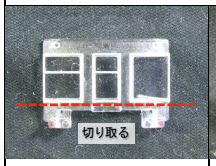
1−5　ライトケースを外す



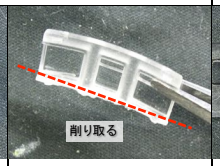
前面透明パーツからライトケースを外します。
固くはまっているので、ライトレンズの上側にカッターの刃先などを挟んでこじり、慎重に外します。

2. 車体を加工する

2−1　前面透明パーツを加工する

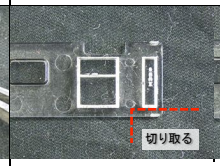


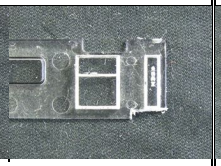
前面透明パーツを、前面窓の直下で切断します。切断したライトレンズは使用しないので保管します。



前面窓裏側下部両端の凸部を削り取ります。

2−2　側窓を加工する

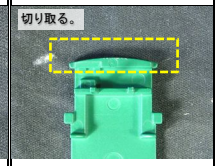




側窓前端下部を、写真のように、四角く切り取ります。
カッターで数度傷を付けてから折るか、ヤスリで削ります。

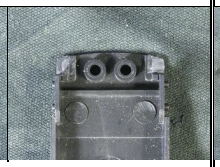
3a. 床板を加工する

（トレーラー車の場合）



シート前端の幅が広くなっている部分（約2mm）をカットします。

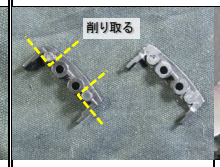
（3aつづき）



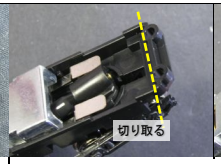
ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。

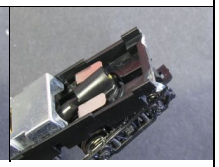
3b. 動力ユニットを加工する

（動力ユニットを組み込む場合）



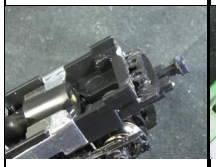
ライトユニットと干渉するので、スペーサー両端の写真に示す部分の突起をすべて削り取ります。





ライトユニットと干渉するので、スペーサー取付け穴を結ぶリブより外側の部分（リブ自体を含みます）を切り取ります。

（3bつづき）



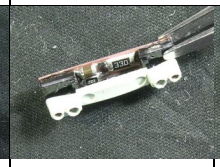
スペーサーは、固定できなくなっているので、ゴム系接着剤で固定します。

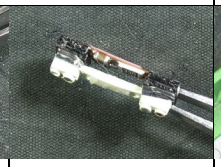
4. ライトユニットを取り付ける

4−1　前面窓ガラスをはめる

前面窓ガラスをはめます。
固定が緩い場合は、両面テープで固定します。

4−2　ライトケースを取付ける





ライトユニットにライトケースをはめます。ライトユニットは凹が下側、ライトケースはレンズ部に切り欠きがある方が上側です。

ライトケースのレンズ部の切り欠きから光が漏れるので、1.5mm × 3mmのポリエステルテープで塞ぎます。両側行ないます。

4−3　ライトユニットをはめる

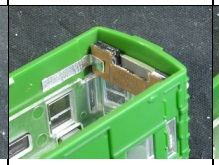
ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープで固定します。

5. 配線する

5−1 側窓をはめる

連結面窓→側窓の順に窓ガラスをはめます。必要に応じて両面テープ片で固定します。

5−2 ライトユニットへの配線



1.5mm × 12mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

5−3 給電パッドの重ね貼り

ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5−4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る

床板との嵌合部の凸部に、5mm × 5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。
車体の四隅の嵌合部に貼ります。

（5−4つづき）

嵌合部の拡大写真です。

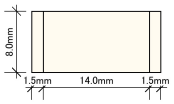
5−5 側窓下をアルミテープで結ぶ

室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。
3mm × 90mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける（室内灯を取り付ける場合にお好みで）

0. パーツを作る

乗務員室仕切り 型紙



0.5mmのプラ板でパーツを作ります。
（遮光に適した黒いプラ板を分売しています）

1 桟を取り付ける

乗務員室仕切りの桟を、乗務員室扉後部の壁の後よりに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。

2 仕切りを取り付ける

乗務員室仕切りを、桟の後側に設置します。
仕切りは、一番前の客室窓に隣接します。

TQ−3500 説明書 2.00
2015/02/20 1.00 初版
2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
2020/11/12 2.10 3500系を3500形に訂正

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism−works.shop−pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249−0002 神奈川県逗子市山の根1−5−15, 店舗営業はしていません。
phone：0468−27−7261, 10:00〜18:00 土日祝休業, e−mail：shop@ism−works.shop−pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp